

平成 29 年度 (2017 年度)
首都大学東京 大学院都市環境科学研究科
都市システム科学域 選抜試験 (夏季)
博士後期課程

科目 < 専門科目 >

時間 12 : 30 ~ 14 : 30

- 注意事項：
- ① 解答は、配布された解答用紙に行うこと。不足した場合は、手を挙げて申し出てください。
 - ② その他、監督者の指示に従うこと。

受験番号	氏名
------	----

以下の設問の中から、いずれか1問を選択し解答しなさい。なお、選択した問題番号を解答用紙に記入すること。

設問 1

人口減少の時代に入った現在、都市に必要な機能を提供する公共施設をいかに維持管理するかが重要な課題であり、目指すべき施設量（あるいはサービス提供量）の見きわめが必要となる。そこで、公共施設の理論的な適正量を導出する方法を論じなさい。具体的な施設種をあげ、客観的数値を導出する方法を論じることが望まれるが、数値そのものを記す必要はない。

以下の5つのキーワードをすべて使い、それらのキーワードには下線を付すこと。

需要 供給 適正量 コスト 計画

設問 2

日本の移民についての政策が転換し、地域社会に様々な母国を持つ移民が急激に流入したとする。地域の公共サービスを担う公務員にも多くの移民を雇用するようになった。その時に、以下の市街地において、a. どのような課題が発生するのか、b. それを解決するどのような政策が立案されるのかを（例）のように自身で設定した上で、政策の立案（PLAN）過程、実行（DO）過程、評価（SEE）過程の各段階において、どのような実施方法を取りうるのかを論じなさい。

市街地は以下から二つを選択し、比較しながら論じること。なお、より具体的な条件（具体的な地名など）を、独自に設定しても構わない。

- 1) 防災の問題を抱える木造住宅密集市街地
- 2) 都市の内部に形成された零細－中小の工場が集積する市街地
- 3) 戸建て住宅中心で計画的に形成された郊外住宅地
- 4) 大都市郊外の鉄道駅近傍の市街地
- 5) 超高層住宅が林立する大都市の中心部
- 6) 人口10万人程度の地方の小都市

（例）a. ゴミの回収ステーションへのゴミ出しのマナーが混乱する。

b. 多言語で書かれた広報、看板を充実させる。